

とっとりリモートワーカー育成事業【鳥取県】

個別事業費	5,850千円
交付金額	4,275千円

地域の実情と課題

自己や家庭の事情等で就労時間等に制限がある女性が、自身のライフスタイルに合った働き方を通じて、女性自身の自己実現等を後押しし、その後の就業等における本人の主体性や自立性の向上を促す必要がある。

事業の特徴

○育成プログラム(名称:SAPコース)の実施(期間:4カ月)

eラーニング用の専用教材によって学習を進めつつ、伴走支援(個別指導、相談、学習状況確認等)を行う。受講生間で学びあえるようSlack内でコミュニティを設置。

事業の効果

デジタルスキルを身に付けたリモートワーカーを育成し、フォローアップや就労支援を行うことで、女性の求職者や非正規労働者等のライフスタイルに応じた多様な働き方や所得向上の実現に繋がってきている。また、県内企業によるリモートワーカーの活用により、地域で育ったリモートワーカーが地域で活躍する動きが広がりにつつある。

目的・目標

県内の女性の求職者や非正規労働者等を対象に、統合基幹業務システムの“SAP”の品質管理業務等を中心としたデジタル知識・スキルを習得する育成プログラムを実施し、フリーランスのリモートワーカーとしての自立、または県内就職まで一気通貫での支援を行う。

○育成プログラムの受講者数

30人(R8.3) ※目標:30人(R7)

○育成プログラム修了者のうち、リモートワーカーとして収入を得ている人数(フリーランスとして案件を獲得している、または就職している)

4人(R8.2) ※目標:30人(R7)

連携団体

○県内外の企業・団体(bankup(県内の企業、行政、大学、地域をつなぐ事業を行うNPO)、デジタルハリウッドSTUDIO米子(Webデザインの専門学校)、BSS山陰放送、鳥取マガジン、合同会社cocoto(地域のコミュニティづくりの推進団体)、N.K.Cナーシングコア(看護師訪問支援、ヤングケアラー支援を行う団体))

○県内市町村

今後の課題

育成したリモートワーカーを就労に繋げるためのフォローアップや就労支援、また、リモートワーカーの活躍の場を広げるとともに、県内企業の人手不足解消やデジタル化による業務効率化等を推進するため、県内企業によるリモートワーカーの活用促進を強化していく必要がある。

学び、つながり、働く。学習後の「働く」を見据えた実践型プログラム

POINT 1 学ぶ

3～4ヶ月の動画・ライブ講義で、働く・稼ぐためのデジタルスキルを習得。オンライン・動画学習も多いため、今の仕事や生活を大きく変えず、未経験からでも学習できます。



POINT 2 つながる

各コースの講師は、第一線で活躍する講師陣。そして総勢90名がオンライン/オフラインでつながり、ともに学び相談し合えるコミュニティがあります。



POINT 3 働く

コース受講後は、認定や就労希望のヒアリングを経て実際のお仕事にチャレンジ。サポートを受けながら業務の受託や、企業様とのマッチング支援を行います。



(1) 育成プログラム(名称:SAPコース)の実施

対象:鳥取県内在住の女性

定員:30名(応募多数の場合、意欲やリモートワークの必要性等を総合的に審査し選定)

事業内容:eラーニング用の専用教材によって学習されつつ、伴走支援を行う

① 共通講座(eラーニング中心。対面講習2回あり。約32時間)

基礎的なビジネススキル、IT業務へのマインドセットの習得等に関する学習。

② ITスキル講座(eラーニング。約140時間)

・SAPについての製品・業務知識に関する講座、動作確認・品質管理に関するオペレーション等を中心としたITスキル習得する学習。

・受講生間で学びあえるようSlack内でコミュニティを設置。

(2) 育成プログラム修了後のフォローアップ

① 習得スキルに応じて、今後のキャリア構築等のコンサルタントを行う。

② フリーランスでの業務案件やリモートワーク就業についての求人の情報提供を行いつつ、業務に関する相談支援を行う。

③ ステップアップを図るためのセミナー等を開催

(テーマ例:フリーランス運営、ディレクタースキル習得等)

(3) リモートワーカー活用に関する県内企業への普及啓発・個別支援

以下のとおり、県内企業におけるリモートワーカーへの発注拡大を図る。

・リモートワーカーのポートフォリオや活動事例集の配布、小規模説明会の実施

・リモートワーカー活用を含むアウトソーシング導入に係る個別支援(リモートワーカーも紹介)